

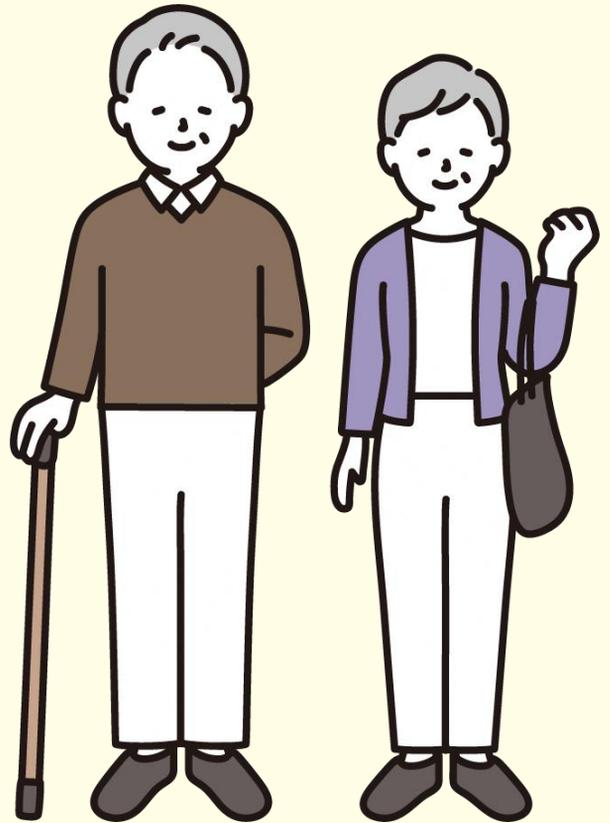
年間6万7千人以上の



高齢者が「ころぶ事故」で 搬送されています。

原因の多くは、家の中の
小さな段差や階段などです。

高齢者は若い人と比べ、
ころんだ際に重症化しやすい
傾向があります。



●ころぶ事故を防ぐポイント

- ✓ 立ち上がる時は、近くのものにつかまる
- ✓ 着替えるときは、腰をかける
- ✓ テープなどを貼り、段差に気付きやすくする

「ころぶ事故」対策動画は、YouTubeで発信中！



屋内編



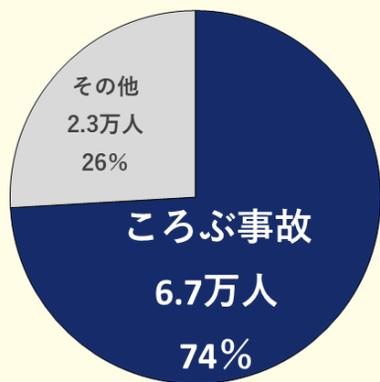
屋外編



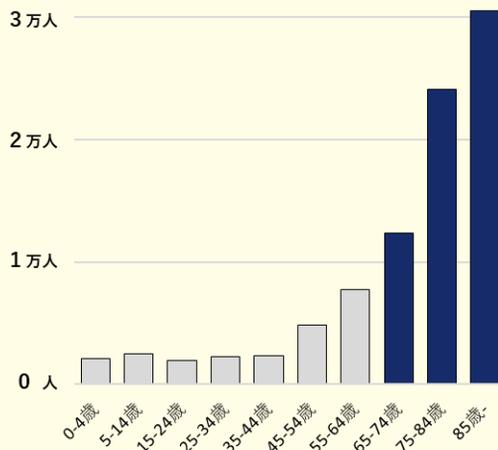


ころんで 救急搬送、 実は、こんなに多い！

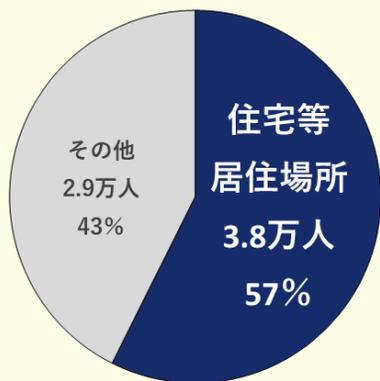
高齢者の日常生活事故のうち、「ころぶ事故」が7割以上を占めています。



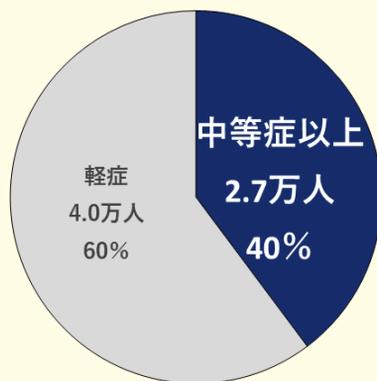
「ころぶ事故」は高齢者に多く発生しています。



高齢者の「ころぶ事故」、半数は住宅等で発生しています。



約4割が、入院を要する中等症以上と診断されています。



※本資料は令和5年中の東京消防庁管内のデータで作成しています。

お問い合わせは、最寄りの消防署へ

東京消防庁

→このリーフレットは、
QRコードから読めます。

STOP！高齢者の事故

事故防止に役立つ一冊
東京消防庁